

佐渡米通信

こめ〜る

2021年 02月号

発行日:2021年2月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

カレンダーで作業確認!

今年も「環境にやさしい佐渡米づくり」カレンダーが完成しました。昨年に引き続き、表紙は佐渡の生きものたちで飾られています。カレンダーには月ごとに作業中の注意事項やポイントが掲載されており、米生産者に配布されます。毎月の米作りの指標になるほか、指導会にも持参して資料として使われます。



QRコードからPDFとしてご覧いただけます。



恋の季節到来♪

トキは繁殖期になると首のあたりの皮膚が厚くなり、粉状にはがれおちます。オスもメスも水浴びの時にその粉を羽にこすりつけ、羽を黒くします。この状態は1月～6月頃まで続き、それ以降は羽が生え換わるためまた白色に戻っていきます。このように羽の色が変わるのはトキだけで、繁殖期を知らせるほか、抱卵時に保護色にするためではないかともいわれています。



提供:環境省

生きものたちの憩いの場

生きものを育む農法の一つ「ふゆみずたんぼ(冬期湛水水田)」は冬の間、生きものたちの貴重な餌場になります。田んぼに水を張っておくことでドジョウやイトミミズなどが暮らせるようになり、それを目当てにトキなどの鳥達がやってきます。田んぼには水をためやすくするため轍跡がついており、くちばしを突っ込んで餌を探すトキの姿が見られます。



いっちゃんうまいお米はどれだ?

第10回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテストで、佐渡産コシヒカリが入賞しました。同コンテストは、大阪府民に好まれるお米を選ぶという審査基準で、全国から298品が出品された中で入賞を果たしました。審査後、出品されたお米は大阪府下の「子ども食堂」へ提供されます。

